

クラス	TU308	担当教員	東内 瑠里子
テーマ	乳幼児の生活体験（自然、食、生活習慣、関わり）と保育実践研究		
著書・論文	共著『子どもの生活体験学習をデザインする』光生館、2010年 共著『保育の探求 子どもの要求を土台にして』新読書社、2012年 共著『現代の社会教育と生涯学習』九州大学出版会、2013年		
研究課題等	共著『「知的な育ち」を形成する保育実践—海卓子、畑谷光代、高瀬慶子に学ぶ』新読書社、2013年など		
ゼミナール概要			
キーワード：保育内容、乳幼児の生活体験、直接体験、保育実践			
<p>■学習目標■</p> <p>乳幼児の生活体験（自然、食、生活習慣、関わり）をキーワードに、現在の乳幼児の状況を把握した上で、どのような活動を、どのように経験させることで（あるいはどのような環境を準備することで）、どのような育ちの援助につながるのか、研究していきます。</p> <p>■内容、方法および授業計画■※ゼミ生の希望で、変更があります。</p> <p>○演習として、現在計画しているものは以下の3つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 毎年「季の野の台所」という美浜町の農園や、東海農政局や、美浜町農業水産課などと連携し食育推進交付事業を実施しています。事業は、農家の生活体験を元に、<u>学生が企画し</u>、展開するものです。この事業運営に、3年生から4年生の合計2年間かかわり、参加してくる乳幼児（あるいは子ども）の直接体験を援助する経験をし、その技術を学びます。例えば、大豆を栽培して醤油を仕込む、石窯を作り、収穫した小麦粉でピザを焼くなど、一つ一つ手作りで、じっくりと時間をかけて取り組みます。 ② 一昨年度は、就学前の発達障がい児と、その親との活動を学内外で行いました。 ③ 昨年度は、4か所の多様な保育内容の幼稚園、保育所の見学に行き、保育内容についてゼミで議論しました。 ④ 長期休暇中に、乳幼児の生活体験を援助している優れた保育実践園の見学に出かけます。 <p>○理論研究として、現在計画しているものは以下の3つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 先行研究、先行実践の文献を分担でレポートし、発表・議論します。 ② 卒業論文に向けた、研究方法について学びます。文献研究をするのか、量的研究をするのか、質的研究をするのか、それぞれどのように組み合わせるか、それぞれのメリット・デメリットについて学びます。 ③ 研究方法を学んだ上で、<u>3年生のうちにも</u>、自分の問題関心から、<u>1本のミニ卒業論文をまとめます</u>。 			
担当教員からのメッセージ			
<ol style="list-style-type: none"> ① 農園「季の野の台所」での活動には、<u>年間1万円</u>（施設利用費、2年間で2万円）がかかります。 ② 長期休暇中に、保育関係施設を見学に行く際には、<u>旅費（視察先による）</u>がかかります。 ③ 自然体験活動を行います。<u>動植物と関わりたい、関われないけど関わられるようになりたい人のみ</u>、このゼミに参加して下さい。 ④ 土日にも活動を行うときがあります。ゼミ活動は、部活動やサークル、バイトよりも<u>優先</u>です。 			